

（社）鹿児島市シルバー人材センター

＝シルバーふれあい祭り開催＝（12月11日）

すこやかランド石坂の里にてシルバーふれあい祭りを開催しました。



▲会員によるマジックショー



▲風船によるバルーンアート



▲会員による農作物・手作り商品の販売



▲グランドゴルフ



▲バザー



▲囲碁同好会



▲夏祭り手踊り



▲旅行

会員互助会の活動と課題

シルバー人材センターの
互助会活動

（社）伊佐市シルバー人材センターの紹介

「自主・自立・共働・共助」の理念から自然発生的に発足している互助会。働くこと、そして仲間同士の交流。対になってセンター事業の発展を目指しています。

平成九年度に広域社団法人として新たに出発した当センターが、まず真っ先に取り組んだ事は、『会員による地域のためのセンター』となることでした。

そのためには、会員理事を中心に各組織の世話人が協力し合い『自主・自立・共働・共助』の実践で、その出発点となったのが、独自事業として取り組んだ門松製作でした。

注文を取るのも覚束無く、作業自体もお互いに見よう見まねで、当時の配分金では、今の煙草賃にもなら

ないほどでした。

しかし、厳しいながらも達成感や充実感を得、更に仲間意識が芽生えた門松事業から有志による会員互助グループが誕生し、その二年後の平成十一年度に会員自らの力で『会員互助会』が誕生しました。

当センターの会員互助会は、理念に基づいたセンター運営の中で会員相互の連帯や福利厚生の上を図ることが目的でありますので、大きくは、傷病見舞金・結婚祝金等の給付事業や共働・共助の理念を育成するための、親睦交流事業、互助会の目的達成のための事業に分けられます。

特にその中でも、センターで毎年開催している経験交流会で、会員から未使用の品を提供してもらい行うバザーの収益を交通遺児や自然災害被災地へ寄付しており、互助会活動の大きな動力となっています。

もちろん、会員同士で計画・実施する親睦交流も盛んに行っており、『高齢者が理念に基づきどのような場面にも共に奮起していく先に楽しみがある』この互助会組織は、センター事業と対であると感じています。

現在、公益法人移行に向けて取り組んでおり、互助会の存在を否定する見解が出ており寂しく感じておりますが、やはり、互助会活動はセンター事業として認められるよう継続して努力していきたいと考えています。